

## 平成23年度建設部農政課執行目標達成状況表

番号	執行目標項目及びその内容	目標とする指標 (具体的な数値・内容)	達成 状況	達成済の結果及び未達成の場合はその理由と取組のプロセス
1	<p><b>農業経営の安定対策（市独自のブランド農産物の確立）</b></p> <p>今年度より、やましろ野菜産地担い手養成塾事業（京都府府事業）を活用し、木津ナス養成塾を開講している。</p> <p>今年度の受講生は5名であり、1年間の研修（実地研修・学習会）を通して、木津ナス農家としての技能・知識を習得してもらう。</p> <p>講師 京都やましろ農協木津支店茄子グループ 受講生 20歳代 1名 30歳代 3名 50歳代 1名</p>	<p>木津ナスは卸売市場で付加価値の高い農産物として注目されている。</p> <p>しかしながら、生産農家が高齢化となり、若い担い手農家に技能・知識を伝承する必要があることから、当養成塾を通して担い手農家を育成し、今後の栽培規模拡大を目指していく。</p>	○	<p>平成23年受講生（5名）が研修を修了し、ナスの生産を開始している。</p> <p>平成24年受講生については、4名の応募があり、平成24年1月18日に開講式を行い、研修を開始した。</p>
2	<p><b>かんがい排水事業の推進（木津Ⅱ地区）</b></p> <p>今年度は、平成20年度から平成24年度完了予定として継続実施している木津かんがい排水事業の4年目となります。</p> <p>本事業にて、木津川の用水を各ため池に供給することにより、農業用水の安定的な確保を図るとともに、水管理システムの導入により水管理の省力化と合理化を図ります。</p>	<p>現在未取得のままとなっている約200㎡の事業予定用地の確保を旨すとともに、約1kmの管路布設工事を実施します。</p>	○	<p>用水管敷設工事として、市坂工区532m、相楽工区459mを実施した。用地取得については、権利調整が整わず、年度繰越を行った。</p>

3	<p><b>地産地消の推進（農産物直売所の整備）</b></p> <p>木津川市には、山城のたけのこ、梅谷のだいこん、当尾のごぼうを始め、茶の栽培も盛んな地域でありながら、農作物を PR しながら、販売できる大規模な直売所がない現状であるため、直売所の整備を促進し、新たな顧客獲得に向けた販路の開拓を図る。</p>	<p>年度内を目標に地産地消並びに直売所推進検討委員会を立ち上げる。</p> <p>農協内で新たな直売所の組織づくりを促進する。</p>	○	<p>直売所の整備に向け、農業生産者組織、JA と連携し、協議を進めている。検討委員会の設置については、具体的な協議を個々行っているため、立ち上げを行っていない。</p>
4	<p><b>有害鳥獣対策の取組</b></p> <p>平成 22 年度において、策定した鳥獣被害防止計画をもとに被害状況の把握に努めながら、防護柵の設置、バッファゾーンの整備等、また広域捕獲の実施など個体数管理も行い適正な対策を図る。</p>	<p>有害鳥獣捕獲員の確保</p> <p>5 年を目途に今後の有害鳥獣に対する新たな捕獲員の育成と掘り起こしを行う。</p> <p>モデル地域を定めて、有害鳥獣被害軽減に向けて、重点的に施策を講じる。</p>	○	<p>バッファゾーンの整備と併せ、地元施行による防護柵を設置し、効果の高い有害鳥獣対策を行った。また、猿の捕獲については、和束町と協働し、広域捕獲を実施し、大きな成果をあげた。</p>

※達成状況の欄は、目標以上に達成した場合は◎、目標どおり概ね達成した場合は○、目標が未達成の場合は△を記入すること。